

佐渡市立両津病院 医療情報システム構築に係るプロポーザル

見積等作成要領

1 本書の目的

本書は、佐渡市立両津病院 医療情報システム構築に係るプロポーザルにおける必要書類の作成要領をまとめたものであり（以下、「本要領」という。）、見積書等は、本要領に沿って作成すること。

2 作成要領

- (1) 見積り内容は、「2 見積明細書」のシートにシステム毎に記載するとともに、費用の内訳別に「標準金額」及び「提供金額」をそれぞれ記載すること。
- (2) 「1 見積書」は、「2 見積明細書」の内容が自動的に反映される設定のため、「1 見積書」のシートの「標準金額」及び「提供金額」の欄は記載しないこと。
- (3) 「標準金額」には、定価あるいは見積積算の根拠となる標準単価を基にした金額を記載すること。
- (4) 「提供金額」には、当病院相当の医療機関向けとして通常提供される金額を記載すること。
- (5) 定価設定が無い項目については、標準金額と提供金額は同額でも構わない。ただし、その旨を備考欄に記載のこと。
- (6) 「2 見積明細書」の「依頼対象」の欄に“○”及び“△”が記載された項目のみ、見積内容を記載すること。“△”については、医療情報システム構築に関連し、継続利用となる既存システム側にて必要となる費用を「接続費用（E）」に記載すること。
- (7) 貴社として提案するシステムが、「資料 02 医療情報システム一覧」で記載したシステム構成と異なる場合は、「（様式 5.1）システム構成一覧」に貴社の提案構成を記載し、「2 見積明細書」には以下を参考に記載すること。また、システムの包含及び分割は、カタログ等の公開された情報で確認可能なパッケージ単位とすること。

（例 1：1-1 電子カルテシステムが 1-2 オーダリングシステム及び 1-3 看護支援システムを包含する場合）
1-1 電子カルテシステムの列に、包含される全ての費用を記載し、1-2 オーダリングシステム、1-3 看護支援システムの列は記載しな。また備考欄にその旨を記載すること。

（例 2：1-1 電子カルテシステムとして想定している病歴管理機能は、別のパッケージシステムで実現する場合）
- (8) 「（様式 5.1）システム構成一覧」に示すシステムを構築するために必要と思われる費用を全て積算できるように記載すること。その際、「2 見積明細書」の分類では該当しないと思われる費用については、最も近い分類の欄に含めて記載し、その旨を備考欄に記載すること。
- (9) その他詳細については、システム化計画書 資料 01～資料 09 を参考にすること。

3 記入要領

※提案システムについて、後に確認できるよう、「調達システムの名称」の欄（下段）に、必ずカタログ等で確認可能な製品名を記載すること。

(1) ソフトウェア費用（A）

①（システム基本費用）

ア 提案システムのパッケージソフトウェアに関する費用を記載してください。

イ カタログなど、公開された情報として製品名・機能などが確認できるものを記載してください。

ウ クライアント数に応じたライセンス費用が発生する場合は、必要なライセンス数に相当する費用を含めて記載してください。

②（オプション費用）

ア カタログなどの公開された情報に、オプションとして基本ソフトウェアとは別費用となっているソフトウェアに関する費用を記載してください。

イ オプション機能を必要とする場合は、当該システムの「特記事項」欄に、オプション機能の名称を記載してください。

③（基本ソフト費用）

ア OS、RDBMS 等、広く調達可能なソフトウェアに関する費用を記載してください。

イ クライアント数に応じたライセンス費用が発生する場合は、必要なライセンス数に相当する費用を含めて記載してください。

(2) ハードウェア費用（B）

①（サーバ）

ア サーバ機器及びサーバ機器を運用するために必要な機器（UPS、KVM 等）に関する費用を記載してください。

イ 電子カルテ運用として通常想定される冗長化及びバックアップに必要な機器に関する費用も含めて記載してください。

②（クライアント）

ア クライアント用コンピュータ端末、ディスプレイモニタ及びプリンタに関する費用を記載してください。

イ 高精細モニタに関する費用も含めて記載してください。

ウ 接続に必要となるケーブルなどが別費用となる場合は、その費用も含めて記載してください。

③（周辺機器）

ア スキャナ、ペンタブレット、バーコードリーダー、PDA 等、その他提案システムに必要となる機器に関する費用を記載してください。

イ 接続に必要となるケーブルなどが別費用となる場合は、その費用も含めて記載してください。

(3) カスタマイズ費用（C）

①（カスタマイズ・システム開発費用）

提案システムが、システム基本費用、あるいはオプション費用の他に、導入先医療機関別に別途必要となるカスタマイズが一般的に行われる場合は、その費用について、当病院相当で一般的な費用を記載してください。

(例)

集計・統計用帳票の作成
操作画面の変更"

(4) 開発導入費 (D)

① (開発導入費用)

- ア プロジェクト管理、WG 実施、開発・テスト作業、リハーサル等稼動準備、稼動立会等、人件費に相当する費用を記載してください。
- イ 基本ソフト費用に標準的な人件費を含む場合は、基本ソフト費用に含まれる範囲の作業内容、想定日数などを備考欄に記載してください。
- ウ 今後のシステム構成調整の参考とするため、下記に係る費用についてはここに含めず、後述の別項目として記載してください。
 - ・システム接続費用
 - ・医療機器接続費用
 - ・システム移行費用"

(5) 接続費用 (E)

① (システム接続費用)

- ア 「資料 03」及び「資料 04」を参考に、システム間の連携（インタフェース）に必要な費用を記載してください。
- イ システム間連携費用は、連携するそれぞれのシステム別に必要な費用を記載してください。
- ウ 継続利用となるシステム側に必要となる費用については、継続利用システムの欄に費用を記載してください。

② (医療機器接続費用)

- ア 「資料 05」を参考に、提案システムと医療機器間の連携（インタフェース）に必要な費用を記載してください。
- イ 連携先となる医療機器側で発生する費用については、これまでの実績に基づく参考費用として含めて記載してください。

(6) システム移行費用 (F)

① (システム移行費用)

- ア 「資料 06」を参考に、現行システムから提案システムへのデータ移行に必要な費用を記載してください。
- イ 現行システムと提案システムが異なる場合、現行システム側に係る費用については省略しても構いません。その旨を備考欄に記載してください。

(7) 設備構築費用 (G)

① (サーバ構築費用)

- ア サーバ機器のラッキング、必要ソフトウェアのインストール、設定、調整に関する費用を記載してください。
- イ サーバ構築費用が開発導入費用に含まれる場合は、その旨を備考欄に記載してください。

② (クライアント等構築費用)

- ア クライアント機器及び周辺機器のキッティング（必要ソフトウェアのインストール、設定、調整）に関する費

用を記載してください。

③ (その他構築費用)

ア システム稼動・運用に外部との通信を必要とする場合、通信回線設置に必要な費用を記載してください。

イ システム運用期間中に必要となる通信費用について、病院側負担が発生する場合は、その費用を含めて記載してください。

(8) システム保守費用 (H)

① (ハードウェア保守費用)

ア サーバ機器、クライアント機器、周辺機器の保守に必要な費用を記載してください。

② (ソフトウェア保守費用)

ア 基本ソフトウェア (サーバ OS、クライアント OS、RDBMS 等) の保守に必要な費用を記載してください。

③ (システム保守費用)

ア システムパッケージソフトウェアの保守に必要な費用を記載してください。

④ (特定医療機器保守費用)

ア 提案システムに特定医療機器が含まれる場合、特定医療機器の保守に必要な費用を記載してください。

イ 特定医療機器の保守を行うにあたり、上記ハードウェア保守・ソフトウェア保守・システム保守と分離できない部分については、該当部分を特定医療機器保守費用にまとめて記載し、その旨を備考欄に記載してください。